

熊本天草幹線道路などの早期実現を!

～県知事と県議会議長に要望書を提出～

7月2日、中川竹治・市まちづくり協議会連絡会会長や安田市長などが県庁を訪問し、熊本天草幹線道路などの早期実現を求める要望書を5万1,447人分の署名を添えて、県知事と県議会議長に提出しました。これは、約3,000人が参加した5月17日の島民集会での大会決議採択などを受けて取り組んだものです。中川会長は「熊本天草幹線道路と第二天草瀬戸大橋の早期実現は島民の願いです。1日も早くお願いします」と要望書などを手渡しました。



▲松永卓・県土木部長に要望書を手渡す
中川竹治・市まちづくり協議会連絡会会長(写真右)

環境にやさしい燃料を民間に提供

～BDFモニター事業をスタート～

廃食用油を環境にやさしい軽油代替燃料(BDF)に変換し、市のゴミ収集車などの燃料として使用している市では7月7日、BDFモニター事業をスタートしました。これは、市の委託を受けて本渡地区清掃センターに一般ゴミを搬入している5業者にBDFを提供し、事業拡大に向けた問題点の洗い出しや、BDFの民間への普及を推進するため実施するものです。同日、同センターで出発式を行い、早速、民間のゴミ収集車2台にBDFを給油しました。



▲市職員がBDFを民間のゴミ収集車に給油

天草市商工会(仮称)の発足に向けて

～商工会合併契約調印式～

本市の8つの商工会(有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和・河浦・天草)が7月14日、「天草市商工会合併契約調印式」を市役所で行い、合併時期などを示した合併契約書に調印しました。これを受けて各商工会では、10月に一斉に臨時総会を開き、会員の承認を得て合併を正式に決定。平成21年4月に天草市商工会(仮称)が設立されます。合併後の会員は約1,300人。8商工会は昨年7月に合併協議会を設置し、名称など33項目の協議を行ってきました。



▲合併契約書に調印後、握手を交わす
8商工会会長と立会人の安田市長(写真中央)

心に響く癒しの歌などに感動

～社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会～

第58回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化推進大会を7月5日、天草市民センターホールで開催しました。この大会では、同運動の作文・標語入賞者表彰や作文発表のほか、柙宇土小学校や新和町子育て実行委員会による事例発表を実施。また、主婦2人組の音楽ユニットcocoönによるコンサートでは、家族への愛や未来への希望など、日常のできごとを題材にした歌やエピソードが披露され、約700人の観客は熱心に聞き入っていました。



▲やさしく語りかけるように歌やエピソードを披露する
コクーンの水月悠里加さん(写真左)と本田裕子さん(同右)



▲かわいいタコを釣り上げて喜ぶ子どもたち

観光客の皆さん タコ釣り楽しんで!

7/5
本渡

～観光タコ釣り始まる～

(社)天草宝島観光協会本渡支部などでは、本渡地区のホテルや旅館などに宿泊した観光客を対象に、9月7日まで「天草ほんど観光タコ釣り大会」を実施しています。7月7日には同大会をPRするため、釣りライターや報道関係者を招いてタコ釣りが行われました。参加者46人は、早朝5時30分に佐伊津漁港を出発。約2kmの沖合いでマダコやイダコを次々に釣り上げていました。同大会についての詳細は、天草ほんど観光旅館ホテル組合☎0968-5368へ。



▲九州代表として西日本選手権大会に出場する
“牛深リトルリーグ”の皆さん

目ざせ西日本一!“牛深リトルリーグ”

7/5-6
牛深

～リトルリーグ西日本選手権大会に出場～

牛深・河浦・天草地区の小学6年生と中学1年生をメンバーとする硬式野球チーム“牛深リトルリーグ”が、7月5・6日に菊池郡大津町で開かれた「全国選抜野球大会兼西日本選手権大会九州予選」で準優勝し、九州代表として西日本大会に出場します。主将の園田篤さん(河浦中1年)は、「チーム一丸となって優勝を目指します」と力強く抱負を語っていました。西日本大会は8月9・10日に広島市で開催されます。皆さんのご声援をお願いします。

タコがいっぱい入りますように!

7/6
有明

～タコつぼの投入式～

タコつぼのオーナーを募集していた大浦地区振興会が7月6日、応募者420人の中から抽選で決定したオーナー50人や家族を招いて、タコつぼの投入式を行いました。今回初企画された“タコつぼオーナー制度”は、1口5,000円でタコつぼ2個を買い、地元の漁師に漁を委託するもので、とれたタコはすべてオーナーに宅配されます。オーナーの皆さんは、大浦漁港でタコつぼに名前などを書き込んだ後、船で投入場所へ移動し、投入作業を見守りました。



▲投入式に参加した“タコつぼオーナー”の皆さん

郷土の良さを知り、まちづくりに生かす

7/10
倉岳

～棚底地区歴史講座～

棚底地区振興会主催の「棚底地区歴史講座」が7月10日、倉岳多目的研修集会施設で開催され、地区住民など約40人が参加しました。同講座では、講師の高田尊徳氏(県文化財保護指導委員)が、同地区の文化財や“棚底”の地名の由来などについて説明されました。同振興会では、天草で最も古い年号の古塔群や棚底城跡、石垣群など、多くの地域資源を最大限に生かしたまちづくりに取り組む予定。今後、観光案内人の育成などに力を入れていけます。



▲まちづくりに生かすため
初めて開催された「棚底地区歴史講座」